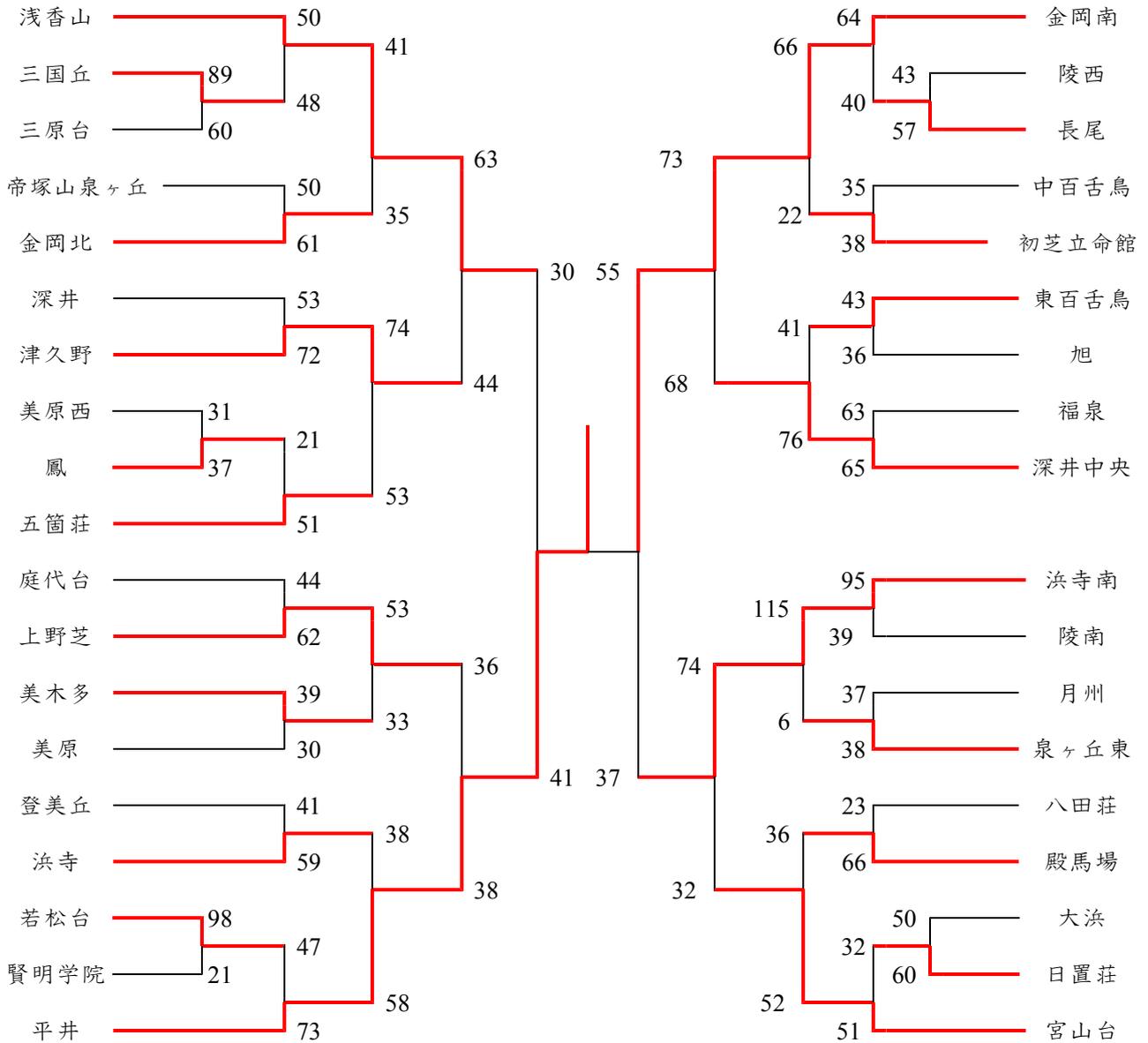


2017年度 堺市新人大会

男子の部



決勝

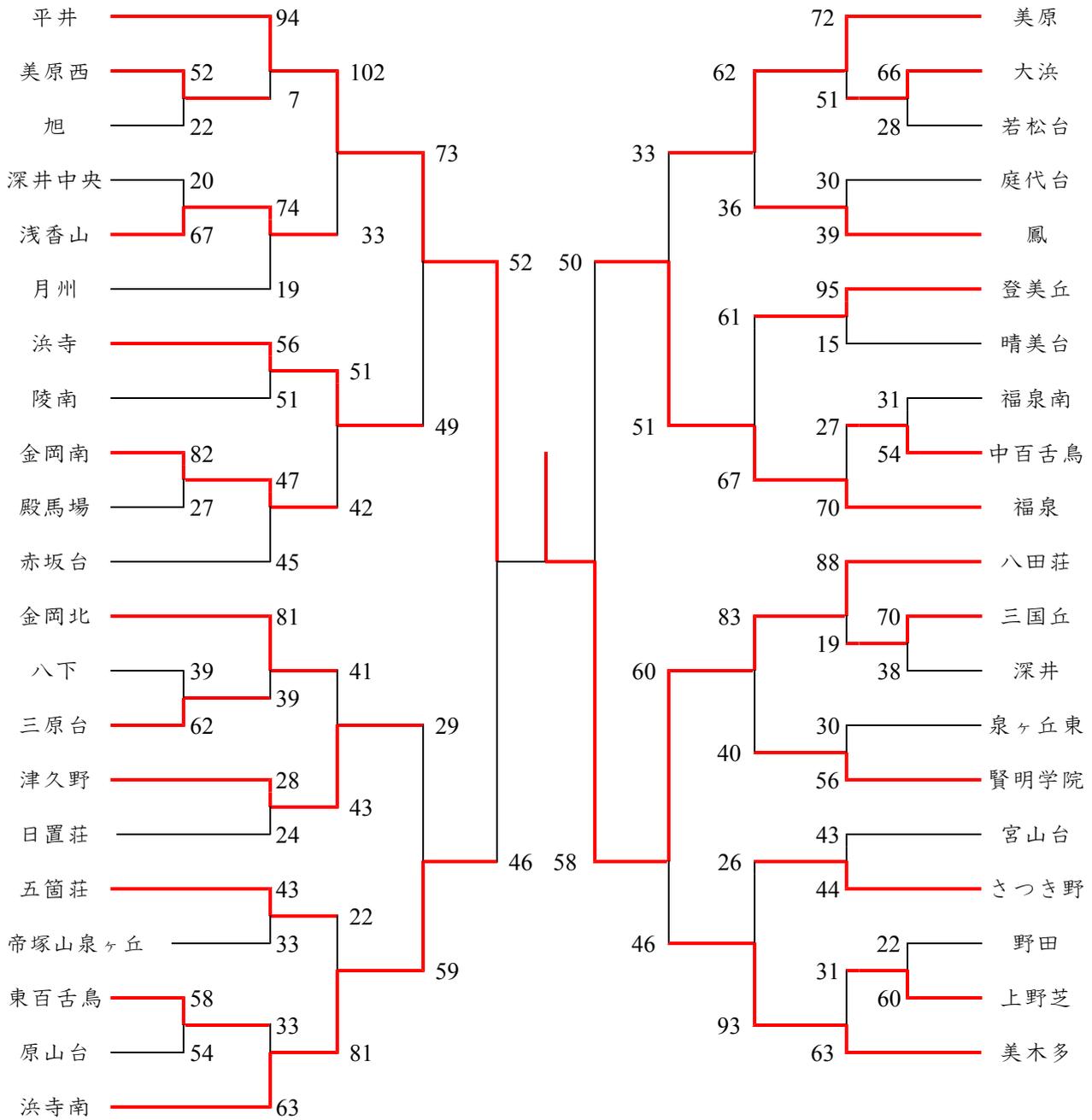
平井 46 - 31 金岡南

1	6	1Q	9
6	2Q	1	1
1	1	3Q	7
1	3	4Q	4

堺招待出場決定戦

津久野 40 - 47 上野芝 深井中央 36 - 12 宮山台

女子の部



決勝

平井 4 2 - 4 4 八田荘

4	1Q	1 3
1 3	2Q	7
5	3Q	1 7
2 0	4Q	7

堺招待出場決定戦

浜寺 2 6 - 1 6 津久野 美原 1 4 - 2 8 美木多

男子決勝戦評

平井④⑤⑥⑦⑪ 金岡南④⑤⑥⑦⑧でスタート。

- 1 Q 平井はハーフマンツォでプレッシャーを与え、相手のミス誘い、④⑤⑥を中心に速攻を決める。金岡南もハーフマンツォで、④のドライブや⑤の3 P シュートなどで攻めていく。お互い積極的にリングに向かって1対1をしかけていったが、金岡南は平井のドライブに対応しきれず、16-9の平井リードで1 Qを終える
- 2 Q はじめに金岡南はオールコートマンツォに切りかえ、平井のミス誘おうとする。⑤のポストプレイからオフェンスを展開し、ミドルシュートを決め、22-20の2点差まで詰め寄り、前半は平井リードで終える。
- 3 Q 平井は、全員でリバウンドに飛び込み、オフェンスリバウンドを取り、得点につなげる。金岡南はスペースにパスをまわし、ノーマークでミドルシュートをねらい、点差を縮めようとする。しかし、平井のディフェンスからの速攻で33-27と平井がリードを広げる。
- 4 Q 金岡南もディフェンスとリバウンドをがんばり、なんとか追いつこうとするが、平井の速攻に対応できない。とびこみリバウンドと速攻を出し続けた平井が46-31で勝利し、堺市新人大会優勝を飾った。(木村、遠藤)

女子決勝戦評

平井④⑥⑦⑩⑫ 八田荘④⑤⑥⑨⑩

- 1 Q 両チームなかなか得点できず、重たい試合展開であったが、八田荘⑥のフリースローと3 p シュートで少しずつ得点が入っていく。八田荘は、④のリバウンドショットや⑥の速攻などで着実に得点を重ね、13点で終える。対する平井は、インサイドにボールが入らず、オフェンスがうまく機能しない。⑩のフリースロー2本と④のドライブからの得点しか取れず4点で終える。
- 2 Q 1 Qとは変わり、平井の⑭⑫がオフェンスリバウンドをがんばり、セカンドチャンスで得点を重ねていく。対する八田荘は、シュートが入らず、リバウンド後のファウルが重なってしまう。フィールドゴールは⑤のゴール下のみで、他は④⑩のフリースローのみの得点にとどまる。平井が流れを押し戻して八田荘20、平井17で2 Qを終える。
- 3 Q 出だしから平井が3 P シュートを中心に得点を狙い、⑥が成功させて同点にする。その後も3 P シュートやインサイドにボールを集めて得点を狙うが攻めきれず、得点を重ねることができない。対する八田荘は、ドライブからの合わせ、パス回しからのミドルシュート、ディフェンスリバウンドからの速攻で得点を重ね、終了間際に④が3 P シュートを決める。八田荘は3 Qで17得点し、リードを15点に広げて3 Qが終了。
- 4 Q 平井がオールコートマンツォでプレッシャーをかけ、⑭⑫のゴール下のシュート、⑧の3 P シュートなどで19点の猛攻をしかけ、開始6分で試合をひっくり返す。八田荘はタイムアウト後、⑩のミドルシュートや⑥の3 P シュートで逆転に成功する。その後は互いにディフェンスをがんばり、一步も譲らない戦いが続く。残り25秒で八田荘がフリースローを獲得し、2本とも成功させて、点差を3点に広げる。残り5秒で平井がフリースローを獲得するが1本しか決められず、2点差で八田荘が逃げ切り、優勝を飾った。(福渡)